

2) 地域ぐるみの子育て支援のまちづくり

- ・高知市に登録する子育てパートナーが子育て支援事業や、保育所若しくは地域子育て支援センターが行う子育て支援活動をサポートすることで、子育て支援の推進を図る。
- ・高知市に登録した子育てサークルや子育て支援サークルが、ふれあいセンターや健康福祉センターで活動を行う場合の使用料の減免支援を行い、乳幼児を子育てしている親子同士の交流を促し、育児力の向上をめざし、子育て家庭の孤立化の予防や育児不安の解消を図る。
- ・地域の子育てを応援する市民・団体・企業を対象に、子育て事情を共有するための「子育て応援セミナー」を開催し、「みんなで支え育ちあう子ども・子育て支援のまちづくり」の実現をめざす。
- ・地域において、託児や送迎などの育児援助を受けたい人（依頼会員）と育児援助を行いたい人（援助会員）がファミリー・サポート・センターに登録し、有償ボランティアによる相互援助活動を行う。

KPI

***（再掲）地域子育て支援拠点事業実施施設数**

:10 施設 [平成 26 年度] → **12 施設** [平成 31 年度]

***子育てサークル一般参加者数:150 人** [平成 31 年度]

***子育て応援セミナー参加人数:250 人** [平成 31 年度]

***（再掲）育児をしていて孤独感を感じる人の割合の減少**

:18.2% [平成 24 年度] → **12%** [平成 31 年度]

***（再掲）乳児家庭訪問率:97.8%** [平成 26 年度] → **100%** [平成 31 年度]

《具体的な事業》

- ・（再掲）地域子育て支援拠点事業
- ・子育てパートナー支援
- ・子育てサークル支援事業
- ・みんなが子育て応援隊事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・（再掲）おめでとうママ事業
- ・（再掲）乳児家庭全戸訪問事業（赤ちゃん誕生おめでとう訪問事業）
- ・（再掲）赤ちゃんサロン事業
- ・（再掲）子育て応援ギフト事業
- ・（再掲）子育てサロン事業

3) 幼児期における教育・保育の充実

- ・高知市子ども・子育て支援事業計画に基づき、特定教育・保育施設及び地域型保育事業に対する給付を行う。
- ・保育幼稚園課に専門の相談支援員を配置し、妊娠・出産・子育て等に関する総合的な相談支援や関係機関との連絡調整等を実施する。
- ・家庭環境や発育状況等に対する配慮が特に必要とされる児童が多く入所している保育所に対し、加配保育士を1名配置するための支援を行う。

KPI

***待機児童数:43人**〔平成27年4月〕 → **0人**〔平成29年度 → 平成31年度〕

《具体的な事業》

- ・子ども・子育て支援法による施設型給付・地域型保育給付
- ・利用者支援事業（子ども・子育て相談支援事業）
- ・家庭支援推進保育事業

4) 多様な保育サービスの充実

- ・保育所，認定こども園，小規模保育施設等において，保育認定を受けた児童が支給認定による利用時間（保育標準時間又は保育短時間）を超えて保育を利用する場合に必要となる，人件費等に対し支援を行う。
- ・病中または病気の回復期にあり，集団保育が困難である小学校3年生までの児童を医療機関に併設された施設等で保育士と看護師が医師と連携を図りながら保育を実施する。
- ・昼間保護者が就労の為，家庭にいない児童に対し，授業の終了後等に学校の余裕教室等を活用して運営する放課後児童クラブにおいて，遊びや生活の場を提供し，児童の健全な育成を図る。

KPI

***時間外保育実施施設数**

:59施設〔平成26年度〕 → **90施設**〔平成31年度〕

***（再掲）一時預かり事業（一般型）実施施設数**

:9施設〔平成26年度〕 → **11施設**〔平成31年度〕

***病児・病後児保育実施施設数**

:4施設〔平成26年度〕 → **5施設**〔平成31年度〕

***待機児童数（放課後児童健全育成事業）**

:95人〔平成27年4月〕 → **0人**〔平成31年度〕

《具体的な事業》

- ・ 時間外保育事業（延長保育事業）
- ・ （再掲）一時預かり事業
- ・ 病児・病後児保育事業
- ・ 放課後児童健全育成事業

⑤ 子育て世帯の経済的負担の軽減

- ・ 子どもの疾病の早期発見，早期治療を促進し，子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため，助成内容の拡充を行う。

助成対象児童の範囲：小学生就学前までとしている範囲を拡充する

助成対象費用：入院・通院費用の自己負担額全額（保険診療分）

所得制限：3歳以上小学校就学前の通院費の所得制限を撤廃する

KPI

***子どもの医療費助成の対象となる児童の範囲**

:小学校就学前 [平成27年度]

→ 対象となる児童の範囲を拡充 [平成31年度]

《具体的な事業》

- ・ 子どもの医療費助成の拡充
- ・ （再掲）三世帯同居等Uターン支援事業

⑥ 女性の活躍の場を拡大するワーク・ライフ・バランスの推進

- ・ 男女がともに多様な生き方の選択の幅を広げるために，雇用する男女について均等な機会及び待遇を確保し，生活と仕事の両立ができるよう就労環境の整備に積極的に努める事業者を表彰することにより，事業者に対する男女共同参画の意識の浸透を図る。
- ・ 就職セミナーを通じたスキルアップや子どもの保育等に関する支援を通じて，女性の就労をサポートし，女性の活躍の場の拡大をめざしていく。

KPI

***表彰企業数:29社(累計)** [平成27年度] → **54社(累計)** [平成31年度]

*** (再掲)就職セミナー参加者の就職率:**

:39.6% [平成24~26年度] → **50%** [平成27年度 → 平成31年度]

*** (再掲)一時預かり事業(一般型)実施施設数**

:9施設 [平成26年度] → **11施設** [平成31年度]

*** (再掲)病児・病後児保育実施施設数**

:4施設 [平成26年度] → **5施設** [平成31年度]

*** (再掲)待機児童数(放課後児童健全育成事業)**

:95人 [平成27年4月] → **0人** [平成31年度]

《具体的な事業》

- ・男女共同参画推進企業表彰制度
- ・(再掲) 若者就職応援事業
- ・(再掲) 一時預かり事業
- ・(再掲) 病児・病後児保育事業
- ・(再掲) 放課後児童健全育成事業

⑦ 地域一体となった教育の推進

- ・学校運営協議会を設置し、保護者及び地域住民等が、一定の権限及び責任を持って学校運営に参画するとともに、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に生かすことで、地域と一体となった学校運営を進める。
- ・地域で学校を支援する仕組みづくりを促進し、子どもたちの学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に役立てるとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図る。
- ・小学校に入学した児童がうまく学校生活に適應できないという問題(小1プロブレム)に対応するための小1サポーターの増員やスタートカリキュラムの実施により、小学校入学当初に子どもが感じる段差を滑らかにし、小学校生活への適應を促進することで、小1プロブレムの発生を防ぐ。
- ・児童生徒に対する読み聞かせや図書館資料の管理等の他、教育指導への支援を行う学校図書館支援員を増員し、学校図書館を活用した児童生徒の学習活動を支援する。
- ・「①学力・体力向上のR P D C Aサイクルを徹底」、「②質の高い問題との出会いの場を設定」、「③徹底した基礎・基本の定着『効く補習』」、「④活用力向上を目指した授業改善『効く授業改善』」の4つの柱を元に、各校が「チーム学校」として組織的に学力・体力向上の取組を進める。
- ・放課後等の時間を活用した基礎、基本の定着を図るための学習の実施や、外部講師を招いた講演会を開催する等、生徒の意欲喚起を図る取組を、各中学校に設置する地域学校協働本部を中心に展開する。

KPI

***学校運営協議会の設置校数**

:6校〔平成27年6月時点〕 → **15校**〔平成31年度〕

***学校支援地域本部, 地域学校協働本部の設置校数**

:0校〔平成26年度〕 → **30校**〔平成31年度〕

***小1プロブレム対策事業指定校**

:19校〔平成27年度〕 → **41小学校**〔平成31年度〕

***小1プロブレム発生率**

:12%〔平成24年度〕 → **5%**〔平成31年度〕

***学校図書貸出冊数:868,108冊**〔平成26年度〕

→ **貸出冊数の前年比増加率5%以上を維持**〔平成31年度〕

***全国学力・学習状況調査における全国比**

:小学校トップレベル(105)・中学校全国平均レベル(100)

〔平成29年度 → 平成31年度 ※平成29年度に見直し予定〕

《具体的な事業》

- ・コミュニティ・スクール推進事業
- ・学校支援地域本部事業
- ・小1プロブレム対策事業
- ・学校図書館支援員配置事業
- ・**新規**小学校学力全国トップレベル達成事業
- ・**新規**中学校学力向上対策推進事業

基本目標4 バランスの取れた県都のまちづくりと地域間の連携により 安心な暮らしを守る

(1) 数値目標

○今後も高知市に住み続けたいと思う市民の割合※
：89.7%（平成27年度）→92.0%（平成31年度）

※市民意識調査の中で「ずっとすみ続けたい」、「住みつづけてもよい」と思う市民の割合

(2) 基本的方向

①広域連携の推進

従来の広域連携の枠組みについて、より実効性を高めるとともに、連携中枢都市圏の形成に向け、近隣市町村との具体的な協議に着手し、圏域単位での人口減少の克服に向けた取組を進める。

高知中央広域定住自立圏の構成市とともに、「移住促進」、「観光振興」の分野について広域連携による事業推進のためのワーキンググループを設置し、有識者を交えた実務者レベルの協議を行い、具体的な連携につなげていく。

②コンパクトなまちづくり

お年寄りから子どもまで幅広い年齢層の人が住んでみたいと思い、また、郊外に住む市民や市外からは、たびたび訪れたいと憧れるような街なか暮らしの実現に向けて、中心市街地にある資源や魅力の強化を図り、より多くの人々で賑わう中心市街地づくりをめざす。また、公共交通の利便性の向上並びに利用促進に向けた取組を支援することにより、利用者の増加を促し、地域公共交通の維持・活性化を図る。

③地域コミュニティの活性化

住民同士のつながりや、住民と行政のつながりを強め、希薄化しつつある地域のコミュニティを再構築するとともに、包括協定を締結している県内大学等との連携を強化し、学生の地域活動等への参加を進めながら、各地域における課題解決を図っていく。また、子どもが中心となる地域活動を支援することで、子どもたちの社会参画やまちづくりに対する意識向上を図るとともに、地域活動の活性化を図る。

④災害に強いまちづくり

防災人づくり塾や自主防災組織の育成等の地域におけるソフト面の防災力の向上とともに、災害時の現地確認システムや衛星携帯電話、緊急用ヘリコプター離着陸場等の施設、設備等のハード整備を進め、災害対応力を強化し、災害に強いまちづくりを進める。

⑤いきいき安心の社会づくり

地域の支えあいの仕組みづくりや介護予防を通じた健康寿命の延伸、「お互い様の住民意識」の醸成等により、誰もが健やかに安心して暮らせる社会づくりを進めていく。

また、市民が手軽に健康づくりのできる環境を整備し、市民の主体的な健康づくり活動を促す。

⑥中山間地域の暮らしを守る

飲料水の確保等、中山間地域における暮らしを守り、維持していくために必要な支援

を行う。また、中山間地域に集落支援員を新たに配置し、集落点検や話し合い等を踏まえた集落の活性化に向けた取組を進める。

中山間地域における集落の維持、活性化を図るため、地元住民等と集落活動センターの設置についての具体的な協議を行う。

⑦人に優しい環境共生都市の実現

高知市のシンボルである鏡川流域の自然環境や魅力について、次期鏡川清流保全基本計画の策定を通じて発信し、本市独自の「森づくり」、「川づくり」、「人・まちづくり」を推進していく。

また、事業所における省エネや低炭素化に向けた新たな取組を支援するとともに、森林の間伐補助等を通じた林業振興を図り、新たな雇用の創出をめざす。

⑧郷土愛の醸成

未来を担う子ども達が豊かな自然や地域社会の中で生まれ、成長していく中で、自分たちが生まれ育った「高知市」を愛する気持ちが持てるようなまちづくりを進める。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

① 広域連携の推進

- ・人口減少、少子高齢化社会においても、一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための連携中枢都市圏の形成に向け、近隣市町村と具体的な協議を進める。
- ・高知の風土に培われたまんが文化に「触れ」、「親しむ」ことで、子ども達の地域への親しみや愛着の気持ちを育む。

KPI ＊連携中枢都市圏の形成 [平成28年度 → 平成31年度]

＊定住自立圏まんが文化連携事業実施校

：5校 [平成25年度] → 5校 [平成31年度]

＊(再掲)市内の年間延べ宿泊者数:93万4千人 [平成26年] → 127万人 [平成31年]

《具体的な事業》

- ・ **新規** 連携中枢都市圏構想推進事業
- ・ 定住自立圏まんが文化連携事業
- ・ (再掲) 定住自立圏高知まんなか広域周遊観光事業
- ・ (再掲) 高知中央広域移住・定住PR事業

② コンパクトなまちづくり

- ・ 中心市街地におけるまちなか居住の推進や、回遊性の向上をめざし、内閣府の認定を受けた計画に基づくハード、ソフトの様々な事業を実施し、コンパクトなまちづくりを進めていく。
- ・ 公共交通の利便性向上及び乗換えポイント等の結節機能向上を図るため、交通事業者が行うバス停及び電停等の整備に対し支援を行う。
- ・ 公共交通の利用促進及びデータ統計が可能であり、経営安定に役立つ「ですかカード」の普及促進を図るため、65歳以上の高齢者を対象とした、初期の「ナイスエイジですか」購入経費の一部を交通事業者に対し支援を行う。

KPI

* 中心市街地の居住人口

: 4,951 〔平成 26 年度〕 → 5,145 人 〔平成 29 年度 → 平成 31 年度〕

* 中心市街地の歩行者通行量

: 95,061 人 〔平成 26 年度〕 → 105,916 人 〔平成 29 年度 → 平成 31 年度〕

* 路線バス、軌道事業を担う「とさでん交通」の経営安定

: 単年度黒字化及び実態債務超過の解消 〔平成 29 年度 → 平成 31 年度〕

《具体的な事業》

- ・ 中心市街地活性化基本計画の推進
- ・ 公共交通利用環境整備事業費補助金
- ・ 高齢者公共交通利用促進事業費補助金

③ 地域コミュニティの活性化

- ・ 各地域における課題解決に向け、概ね小学校区を単位とした町内会等の地縁組織や地域の公共的各種団体の代表者等で構成される「地域内連携協議会」の設立を支援する。
- ・ 次代のまちづくり活動を担う子どもからの事業提案に対して子どもたちが審査し、活動助成を行う「こうちこどもファンド」の実施を通じ、子どもたちの社会参画やまちづくりに対する意識向上を図るとともに、子どもが活動の中心となることによる地域活動の活性化を図る。また、こども未来まちづくりプロジェクト 103 との連携により、こどもファンドの活用促進を図る。
- ・ 様々な地域活動において中心的な役割を担う人材の育成を目的に、地域活動への積極的な参加意識の醸成や課題解決等に必要な技術の習得等のための連続講座を開催する。
- ・ 高知市域全体に関わるまちづくりについて、子ども達が主体的に議論、提言、行動する「チーム 103」を設置し、子ども達のまちづくり活動への主体的な参画を促す。

KPI

***地域内連携協議会の設立地域数**

:5地域〔平成27年5月末現在〕 → **27地域**〔平成31年度〕

***こどもファンドの助成を受け活動する団体数**

:27団体(累計)〔平成26年度末〕 → **77団体(累計・50団体増)**〔平成31年度〕

***地域リーダー養成講座修了者数**

:103人(累計)〔平成26年度〕 → **253人(累計・150人増)**〔平成31年度〕

《具体的な事業》

- ・地域コミュニティ再構築事業
- ・子どもまちづくり活動支援事業
- ・地域リーダー養成講座
- ・こども未来まちづくりプロジェクト103

④ 災害に強いまちづくり

1) 地域防災力の向上

- ・防災人づくり塾（講義8回，講演1回）を開催し，防災に関する基礎的な知識や技能を身につけてもらい，自らの地域及び事業所等で防災リーダーとして活躍してもらおう。防災人づくり塾修了生を対象に，防災士資格取得希望者を募集し，防災士の資格を取得してもらい，専門知識を持った防災リーダーの創出を図る。
- ・地域における防災活動の主体となる自主防災組織の活動活性化及び消防団との連携を図るとともに，補助金等を活用し，自主防災組織による防災資機材整備を促進することで，災害に強いまちづくりに役立てる。

KPI

***防災人づくり塾修了生数**

:1,642人〔平成26年度〕 → **2,500人**〔平成31年度〕

***防災士資格取得者数**

:422人〔平成26年度〕 → **1,000人**〔平成31年度〕

***自主防災組織の組織率**

:88.3%〔平成27年4月1日現在〕 → **100%**〔平成27年度 → 平成31年度〕

《具体的な事業》

- ・防災人づくり事業
- ・自主防災組織育成強化費

2) 災害対応力の強化

- ・中山間地域において、現地パトロール職員が災害現場をスマートフォンで撮影した映像等をリアルタイムで本部に配信し、本部からリアルタイムに音声で指示を行えるようにシステム化を実施する。
- ・旧高知市の中山間地域における孤立化集落対策の計画を策定する。集落との連絡が速やかに行えるよう、自主防災組織の活動活性化を進め、集落内の防災力の向上に努める。また、孤立の可能性のある集落に対し、緊急用ヘリコプター離着陸場や衛星携帯電話、無線などの施設、設備の整備を進める。

KPI

***台風災害発生時期までのシステム整備・運用** [平成 31 年度]

***中山間地域における孤立化集落対策計画策定・推進**

:2地区 [平成 26 年度] → **6地区** [平成 31 年度]

***(再掲)防災人づくり塾修了生数**

:1,642 人 [平成 26 年度] → **2,500 人** [平成 31 年度]

***(再掲)防災士資格取得者数**

:422 人 [平成 26 年度] → **1,000 人** [平成 31 年度]

《具体的な事業》

- ・中山間災害情報支援システムモデル事業
- ・中山間防災計画策定
- ・(再掲) 防災人づくり事業
- ・(再掲) 多目的ドーム整備事業

⑤ いきいき安心の社会づくり

1) 地域での支えあい・助け合いのしくみづくり

- ・高齢者の健康づくりや介護予防、社会参加の推進を目的として、いきいき百歳体操や介護保険施設等でのボランティア活動への参加に対してポイントを付与し、次年度に商品券等へ交換して還元する。健康寿命の延伸と「お互い様の住民意識」の醸成をめざしていく。
- ・高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等による多様な支援体制の構築をめざし、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やネットワーク化を行う生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置及び協議体の設置を行う。
- ・平成 30 年度夏以降に開設予定の新図書館等複合施設において、視覚障害、その他の障害、高齢、病気等で通常の活字図書等の利用が困難な人（「プリント・ディスプレイ（PD）のある人」）がアクセスできる各種バリアフリー資料（点字、録音、テキストデジタイズなどのデジタル資料、大活字等）の貸出や対面音訳等の障害者サービスを充

実させ、障害者等の読書・情報環境の充実を図る。また、PDのある人への周知・広報等を行い利用者の拡大を図る。

- ・障害福祉サービス事業所や障害者支援施設等において障害等のある方々の日中における活動の場を確保し、社会生活訓練や創作活動等を実施し、社会参加を支援するとともに、その家族の就労支援や一時的な休息を図る。

KPI

***65歳の平均自立期間(65歳の人が必要介護2の状態になるまでの期間)**

:男性 17.3年, 女性 20.32年 [平成25年度]

→ 男性 18.6年, 女性 21.3年 [平成31年度]

***「地域活動に参加している人」の割合**

:一般高齢 20.3% [平成26年度] → 25% [平成31年度]

***プリント・ディスアビリティのある人の利用登録者数**

:306人 [平成26年度] → 400人 [平成31年度]

***日中一時支援事業の事業実利用者数**

:260人 [平成26年度] → 340人 [平成31年度]

《具体的な事業》

- ・こうち笑顔マイレージ推進事業
- ・**新規**生活支援体制整備事業
- ・活字図書等の利用が困難な人への読書・情報サービス事業
- ・日中一時支援事業

2) 健やかでいきいきとした暮らしを支える

- ・市民が手軽に継続して健康づくりができる環境を整備し、生活習慣病による早世予防や要介護の原因疾病の予防等を通じた介護予防の実施により市民の健康寿命の延伸を図る。具体的には、特定健診受診の働きかけや、市民が主体的に健康づくり活動に取り組む、継続できる仕組みづくり等を進める。
- ・地域の公民館等で地域の住民が主体となり、高齢者の筋力向上、口腔機能向上を目的とした体操を週に1～2回継続して実施できるよう、体操会場での実技指導等の支援やサポーター養成研修を開催する。事業を通じて健康寿命の延伸と「お互い様の住民意識」の醸成を図る。
- ・第3の体操として新たに開発した「しゃきしゃき百歳体操」を通じて認知機能の向上を図り、高齢者が安心して生活できるよう支援する。

KPI

***（再掲）65歳の平均自立期間（65歳の人が要介護2の状態になるまでの期間）**

：男性 17.3年，女性 20.32年〔平成25年度〕

→ 男性 18.6年，女性 21.3年〔平成31年度〕

***70歳未満の標準化死亡比**

：男性 109.7，女性 106.2〔平成21～25年度平均〕

→ 男性 105，女性 103〔平成31年度〕

***いきいき百歳体操実施箇所数**

：317箇所〔平成27年1月末現在〕 **→ 405箇所**〔平成31年度〕

***かみかみ百歳体操実施箇所数**

：264箇所〔平成27年1月末現在〕 **→ 355箇所**〔平成31年度〕

***しゃきしゃき百歳体操実施箇所数：355箇所**〔平成31年度〕

《具体的な事業》

- ・ 健診から始まる健康づくり
（特定健診受診勧奨，特定保健指導，ハイリスク保健指導，健診結果説明会，女性健診，健康講座等の実施）
- ・ 関係機関と連携した重症化予防の取組
- ・ 健康の輪を広げる仕組みづくり
（（仮称）「いきいき健康大作戦」，「こうちし食育やるぞねっと」等の実施）
- ・ いきいき・かみかみ・しゃきしゃき百歳体操の推進

⑥ 中山間地域の暮らしを守る

- ・ 中山間地域における生活用水の安定的確保や，飲料水供給施設の維持管理に関する相談や支援の要望に対応するため，実態調査により状況を把握し，迅速な対応が可能な体制の構築と補助制度の拡充を図る。
- ・ 集落支援員を配置し，集落点検や話し合いを通じ，移住・交流の推進や特産品を生かした地域おこし活動等に取り組む。
- ・ 地域資源を活用した交流活動や地域の支え合いの仕組みの構築等，集落活動センターの活動に対する支援を県と連携して実施し，持続可能な中山間の地域づくりを進める。

KPI

＊実態調査により飲料水供給施設の状況把握ができた集落数

：中山間地域の全集落数 59〔平成 31 年度〕

＊集落点検の取りまとめと新たな活動に向けた検討会の開催

：20 地区〔平成 31 年度〕

＊新たな協働活動の検討, 実施: 2 件〔平成 31 年度〕

＊(再掲)台風災害発生時期までのシステム整備・運用〔平成 31 年度〕

＊(再掲)中山間地域における孤立化集落対策計画策定・推進

：2 地区〔平成 26 年度〕 → 6 地区〔平成 31 年度〕

《具体的な事業》

- ・ 飲料水供給施設実態調査事業
- ・ 集落支援員報酬等
- ・ **新規**集落活動センターの活動支援
- ・ (再掲) 中山間災害情報支援システムモデル事業
- ・ (再掲) 中山間防災計画策定

⑦ 人に優しい環境共生都市の実現

- ・ 高知市のシンボルであり、森・里・海の環境軸としての役割を持つ鏡川の清流保全基本計画を検証し、時代に即した理念や施策に基づく次期鏡川清流保全基本計画を策定することにより、鏡川流域の豊かな自然環境の保全及び地域資源として鏡川の魅力を発信し、本市独自のまちづくり「森づくり」、「川づくり」、「人・まちづくり」を推進していく。
- ・ 事業所における省エネルギーを推進するため、市内での新築や現在地で増改築を行う事業所が、温室効果ガス削減効果の高い設備機器を導入する場合に、費用の一部助成を行い、事業所におけるエネルギーコストの削減につなげる。
- ・ 市内の小学 1～6 年生を対象として、夏休み期間に家庭で省エネルギー活動にチャレンジしてもらい、地球環境にやさしいエコライフのきっかけづくりを行う。
- ・ 「土佐から始まる環境民権運動推進協定」を締結している量販店の協力により、駐輪場を「サイクル&ショップライド」のステーションとして活用し、環境にやさしい自転車の利用とバス・電車の公共交通の利用促進を図り、低炭素都市の実現をめざす。
- ・ 温泉宿泊施設オーベルジュ土佐山に、地域資源の木材(薪)を活用したボイラーを導入することにより CO2 排出の抑制とともに新たな雇用の創出を図る。

KPI

＊行政主体又は市民と協働で実施した環境学習講座への参加者数

：230人〔平成25年度〕→400人〔平成31年度〕

＊温室効果ガス削減効果の高い設備機器を導入した事業者数

：20〔平成27年度〕→100(累計)〔平成31年度〕

＊よさこいエコライフチャレンジへの参加者年間：100名〔平成31年度〕

＊「サイクル&ショップライド」の1店舗あたりの利用登録件数：10件〔平成31年度〕

＊オーベルジュ土佐山温泉利用者

：17,581人〔平成26年度〕→年間2万人に回復〔平成31年度〕

＊薪ボイラー導入に合わせた地元住民の雇用：1人〔平成31年度〕

＊(再掲)間伐材搬出量

→10,000立方メートル(累計)〔平成31年度〕

《具体的な事業》

- ・次期鏡川清流保全基本計画策定と施策推進
- ・省エネルギー機器導入事業費補助金
- ・環境民権運動推進事業
- ・低炭素型交通推進事業
- ・オーベルジュ土佐山薪ボイラー導入事業
- ・(再掲)〔産振計画〕森林総合整備事業費補助金

⑧ 郷土愛の醸成

- ・高知市のシンボルである鏡川を中心とした自然環境への関わりや、高知のまんが文化への親しみ、地域における子ども達の主体的なまちづくり活動等を通じて、自分たちが生まれ育った「高知市」に愛着を持ち、これからも高知市で住み続けたいと思える気持ちの醸成を図る。

KPI

＊(再掲)定住自立圏まんが文化連携事業実施校

：5校〔平成25年度〕→5校〔平成31年度〕

＊(再掲)行政主体又は市民と協働で実施した環境学習講座への参加者

：230人〔平成25年度〕→400人〔平成31年度〕

＊(再掲)こどもファンドの助成を受け活動する団体数

：27団体〔平成26年度〕→77団体(累計・50団体増)〔平成31年度〕

《具体的な事業》

- ・(再掲)定住自立圏まんが文化連携事業
- ・(再掲)次期鏡川清流保全基本計画策定と施策推進
- ・(再掲)子どもまちづくり活動支援事業
- ・(再掲)こども未来まちづくりプロジェクト103

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成27年度重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標	施策(大項目)	施策(小項目)	KPI				進捗状況	
			項目	基準値	平成27年度実績値 (※未確定の場合は 直近値もしくは見込値)	平成27年度 目標値		平成31年度 目標値
1	①	1)	* 園芸品目の販売実績	8,294百万円 〔平成25年度〕	8,500百万円	-	8,300百万円	○
			* 農家の負担軽減、経営安定化強化につながる 技術等の普及件数(営農支援事業)	-	5件	5件		○
			* 間伐材搬出量	1,364m ³ (単年)〔平成26年度〕	2,100m ³ (見込値)	-	10,000m ³ (累計)	○
1	①	2)	* 新規就農者数及び新規漁業就業者数	30人/年 (農業30人、水産0人) 〔平成24～26年度平均〕	農業30人	-	農業31人	△
					水産1人	-	水産1人	○
		* 研修生延べ人数(林業担い手育成対策事業)	-	(平成28年度から事業開始)	-	14人	-	
1	①	3)	* エコファーマー取得農家数	215経営体 〔平成25年度〕	127経営体	-	215経営体	△
			* 6次産業化を実施するための加工拠点、 販売拠点の整備	-	(平成28年度の整備に向け準備中)		各1箇所整備	-
			* ユズの学校・受講生の延べ人数	-	(事業実施に向け協議中)	-	受講生40人 (年間10人)	○
			* 受益農地における農作物被害の抑制	-	0件	被害件数0件	被害件数0件	○
			* 環境制御機器導入農家数	-	4戸	5戸		△
			* 炭酸ガス発生機導入農家の10a当たりの収量	-	-	-	30%増	-
1	②	1)	* 取組を通じた新たな商品開発数	-	商品開発数 1点	商品開発数 3点	商品開発数 3点	△
				-	商談成約数 10件	商談成約数 5件	商談成約数 5件	○
			* 取組を通じた新たな商品開発数 (中山間地域農作物加工施設支援事業費補助金)	-	商品開発数 9商品	商品開発数 3点以上	商品開発数 3点以上	○
1	②	2)	* ビジネスフェア当日の商談件数	-	157件	100件	500件(累計)	○
			* 販路拡大に向けた商談中の案件	-	50件(見込値)	50件	250件(累計)	○
			* 知名度向上、地産地消外商に繋がる取組の創出 (高知の元気発信事業)	-	3件(見込値)	4件以上	20件以上(累計)	△
			* 売上増加企業の割合	-	85.7%(見込値)	90%以上	90%以上	△
			* 高知港利用貨物数	年間7,235TEU (実入りコンテナ) 〔平成22～26年度平均〕	7,824TEU	年間7,500TEU (実入りコンテナ)	年間7,500TEU (実入りコンテナ)	○
			* 認定件数(新事業分野開拓者認定制度)	2件 〔平成26年度〕	1件(直近値)	-	10件(累計)	△
			* 加工品(試作品)の完成	-	1品	加工品(試作品)の 完成1品	加工品の完成 1品	○
1	③	1)	* 市内の年間延べ宿泊者数	93万4千人 〔平成26年〕	92.3万人	-	127万人	△
			* 年間外国人観光客数	2.2万人泊 〔平成26年〕	2.4万人泊(見込値)	H26年(2.2万人泊) 比2千人泊増	H26年(2.2万人泊) 比1万人泊増	○
			* 大型船舶寄港時のアンケート調査による満足度	-	86.70%	75%以上	75%以上	○
1	③	2)	* (再掲)市内の年間延べ宿泊者数	93万4千人 〔平成26年〕	92.3万人	-	127万人	△
1	③	3)	* (再掲)市内の年間延べ宿泊者数	93万4千人 〔平成26年〕	92.3万人	-	127万人	△

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成27年度重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標	施策(大項目)	施策(小項目)	KPI				進捗状況	
			項目	基準値	平成27年度実績値 (※未確定の場合は 直近値 もしくは見込値)	平成27年度 目標値		平成31年度 目標値
1	③	4)	* (再掲)市内の年間延べ宿泊者数	93万4千人 〔平成26年〕	92.3万人	-	127万人	△
1	③	5)	* 東部総合運動場利用者延べ人数	26.6万人 〔平成26年度〕	27.3万人	-	30万人	○
1	③	6)	* (再掲)市内の年間延べ宿泊者数	93万4千人 〔平成26年〕	92.3万人	-	127万人	△
1	③	6)	* (再掲)年間外国人観光客数	2.2万人泊 〔平成26年〕	2.4万人泊(見込値)	H26年(2.2万人泊) 比2千人泊増	H26年(2.2万人泊) 比1万人泊増	○
1	④	1)	*ものづくり創生支援事業による新規創業数	-	3件	5件	25件(累計)	△
			*創業等に関する相談件数	-	230件(見込値)	200件	1,000件(累計)	○
			*企業誘致、創業支援等による若者を含む新たな雇用創出	-	企業誘致:130人 創業支援:7人 (見込値)	50人	250人(累計)	○
			*貸事務所(シェアオフィス)利用企業誘致数	-	0件(直近値)	2企業	2企業	△
			*地場企業の拠点拡充・東京23区からの本社機能移転	-	(28年度から事業本格実施)	-	各1件	○
			*新規工場用面積	-	高知一宮団地(面積約4.7ha)整備に一部着手	-	9ha	○
1	④	2)	*就職セミナー参加者の就職率	39.6% 〔平成24～26年度平均〕	30.8%(直近値)	50%	50%	△
			*無料職業紹介所を通じた就職者数	17人 〔平成24～26年度平均〕	33人(直近値)	-	30人	○
2	①		*土佐山地域における交流会、イベントへの参加人数	-	205人 (アカデミー事業、移住者交流会合計) (見込値)	280人	800人	△
			*土佐山地域におけるイベント、交流会の参加者満足度	-	満足度93.8% (参加者アンケート)	75%以上	75%以上	○
2	②		*住宅整備戸数	-	10戸	-	10戸	○
			*住宅情報の提供件数	-	(事業実施に向け協議中)	-	30件	○
			*三世同居等Uターン支援事業を通じた移住組数	-	(平成28年度から事業開始)	-	10組 (40組(累計))	-
2	③		*土佐山小中一貫教育校へ地域外からの通学、転入児童・生徒数	-	26年度児童生徒数比 7割強	3割増	平成27年度比倍増	○
			*特色ある教育活動を実施する団体	-	実施校10校	2校	高知市立学校の50% 以上からの応募、事業 実施校4校以上	○
			*学校評価(児童生徒、保護者、教職員、関係者)等において、事業実施についての肯定	-	85%見込み	90%以上	90%以上	△
			*高知英語村利用者延べ人数	-	-	-	年間1万人	-
3	①		*育児をしていて孤独感を感じる人の割合の減少	18.2% 〔平成24年度〕	-	-	12%	-
			*子育て集いの場の箇所数	-	(平成28年度から事業開始)	-	40箇所	-
			*パパママあんしんスタート事業参加者の満足度	-	95% (満足、やや満足)	75%	80%	○

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成27年度重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標	施策(大項目)	施策(小項目)	KPI				進捗状況	
			項目	基準値	平成27年度実績値 (※未確定の場合は直近値もしくは見込値)	平成27年度目標値		平成31年度目標値
3	②	1)	* 歯肉に所見のあるものの割合	小学5・6年生23.3% 〔平成26年度〕	小学5・6年 26.1% (平成27年度)	-	小学5・6年生 19%	△
				中学生36.1% 〔平成26年度〕	中学生 33.8% (平成27年度)	-	中学生 31.0%	○
		* 市立中学校の給食実施校	19校中6校 〔平成27年度〕	19校中6校	-	全校	○	
3	②	2)	* 愛活企業認証数	-	0社	20社	50社	△
			* 愛活パスポート協賛社数	-	20社	-	50社	○
			* 25歳の愛活成人式参加者数	-	60人(予定)	100人	延べ500人	△
			* カップル成立数(愛活推進事業)	-	0組	-	50組(累計)	△
			* 結婚成立数(愛活推進事業)	-	0組	-	20組(累計)	△
3	③	1)	* 母子保健コーディネーターの面接実施割合	-	28.6% (平成28年1月末現在)	-	80%	○
			* 支援ニーズの高い妊婦への支援実施割合	-	80.6% (平成28年1月末現在)	-	80%	○
			* 飛び込み出産の数	1件 〔平成26年度〕	2件 (平成28年1月末現在)	-	0件	△
			* 子育てひろば参加者の満足度	-	96% (満足、やや満足)	-	80%	○
			* 低出生体重児の出生の割合(出生百対)	10.5 〔平成25年度〕	-	-	9.6	-
			* 0~2歳の保護者の子育てに関する情報の入手方法の中で、子育て応援ブックから収集する人の割合の増加	14.0% 〔平成26年度〕	-	-	40%	-
			* (再掲)パパママあんしんスタート事業参加者の満足度	-	95% (満足、やや満足)	75%	80%	○
			* (再掲)育児をしていて孤独感を感じる人の割合の減少	18.2% 〔平成24年度〕	-	-	12%	-
3	③	2)	* 幼児健診受診率	1歳6ヶ月健診 87.1% 〔平成26年度〕	-	-	90%	-
				3歳児健診 81.0% 〔平成26年度〕	-	-	90%	-
		* 幼児健診後の精密検査受診率	1歳6ヶ月健診 93.0% 〔平成27年6月時点〕	-	-	100%	-	
			3歳児健診 81.0% 〔平成27年6月時点〕	-	-	100%	-	
		* (再掲)子育てひろば参加者の満足度	-	96% (満足、やや満足)	-	80%	○	
		* 離乳食教室初回参加者数	420組 〔平成26年度〕	382組 (平成27年2月時点)	-	450組	○	
		* 乳児家庭訪問率	97.8% 〔平成26年度〕	-	-	100%	-	
		* むし歯のない者の割合	3歳児 84.4% 〔平成26年度〕	-	-	3歳児 87.5%	-	
			12歳児 52.4% 〔平成26年度〕	12歳児 49.25% (平成27年度)	-	12歳児 57.0%	△	
		* (再掲)歯肉の所見のある者の割合	小学5・6年生 23.3% 〔平成26年度〕	小学5・6年 26.1% (平成27年度)	-	小学5・6年生 19%	△	
中学生 36.1% 〔平成26年度〕	中学生 33.8% (平成27年度)		-	中学生31.0%	○			
* (再掲)育児をしていて孤独感を感じる人の割合の減少	18.2% 〔平成24年度〕	-	-	12%	-			

○:目標達成又は達成見込のもの、計画的に事業を実施中のもの。
 △:目標未達成のもの、現時点では目標達成が困難と思われるもの。

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成27年度重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標	施策(大項目)	施策(小項目)	KPI				進捗状況	
			項目	基準値	平成27年度実績値 (※未確定の場合は直近値もしくは見込値)	平成27年度目標値		平成31年度目標値
3	④	1)	* 地域子育て支援拠点事業実施施設数	10施設 〔平成26年度〕	10施設 (H27実績)	-	12施設	○
			* 親子絵本ふれあい事業利用者満足度	86.6% 〔平成26年度〕	-	-	88%	-
			* 一時預かり事業(一般型)実施施設数	9施設 〔平成26年度〕	9施設	-	10施設	○
			* (再掲)子育てひろば参加者の満足度	-	96% (満足、やや満足)	-	80%	○
			* (再掲)0~2歳の保護者の子育てに関する情報の入手方法の中で、子育て応援ブックから収集する人の割合の増加	14.0% 〔平成26年度〕	-	-	40%	-
			* 「ばむ」利用者満足度	-	-	75%	80%	-
3	④	2)	* (再掲)地域子育て支援拠点事業実施施設数	10施設 〔平成26年度〕	10施設 (H27実績)	-	12施設	○
			* 子育てサークル一般参加者数	-	-	100人	150人	-
			* 子育て応援セミナー参加人数	-	126人 (H27実績)	200人	250人	△
			* (再掲)育児をしていて孤独感を感じる人の割合の減少	18.2% 〔平成24年度〕	-	-	12%	-
			* (再掲)乳児家庭訪問率	97.8% 〔平成26年度〕	-	-	100%	-
3	④	3)	* 待機児童数	43人 〔平成27年4月〕	-	-	0人	-
3	④	4)	* 時間外保育実施施設数	59施設 〔平成26年度〕	80施設	-	60施設	○
			* (再掲)一時預かり事業(一般型)実施施設数	9施設 〔平成26年度〕	9施設	-	10施設	○
			* 病児・病後児保育実施施設数	4施設 〔平成26年度〕	4施設 (H27実績)	-	5施設	○
			* 待機児童数(放課後児童健全育成事業)	95人 〔平成27年4月〕	-	-	0人	-
3	⑤		* 子どもの医療費助成の対象となる児童の範囲	小学校就学前 〔平成27年度〕	小学校就学前	小学校就学前	対象となる児童の範囲を拡充	○
3	⑥		* 表彰企業数	29社(累計) 〔平成27年度〕	-	-	54社(累計)	-
			* (再掲)就職セミナー参加者の就職率	39.6% 〔平成24~26年度〕	30%(直近値)	50%	50%	△
			* (再掲)一時預かり事業(一般型)実施施設数	9施設 〔平成26年度〕	9施設	-	10施設	○
			* (再掲)病児・病後児保育実施施設数	4施設 〔平成26年度〕	4施設 (H27実績)	-	5施設	○
			* (再掲)待機児童数	95人 〔平成27年4月〕	-	-	0人	-
3	⑦		* 学校運営協議会の設置校数	6校 〔平成27年6月時点〕	6校	-	30校	△
			* 学校支援地域本部の設置校数	0校 〔平成26年度〕	-	-	15校	-
			* 小1プロブレム対策事業指定校	19校 〔平成27年度〕	-	-	41小学校	-
			* 小1プロブレム発生率	12% 〔平成24年度〕	5% (事業実施校19校)	-	5%	○
			* 学校図書貸出数	868,108冊 〔平成26年度〕	5%(見込値)	-	貸出冊数の前年比増 加率5%以上を維持	○

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成27年度重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標	施策(大項目)	施策(小項目)	KPI				進捗状況	
			項目	基準値	平成27年度実績値 (※未確定の場合は直近値もしくは見込値)	平成27年度目標値		平成31年度目標値
4	①		* 定住自立圏まんが文化連携事業実施校	5校 〔平成25年度〕	3校	-	5校	△
			* (再掲)市内の年間延べ宿泊者数	93万4千人 〔平成26年〕	92.3万人	-	127万人	△
4	②		* 中心市街地の居住人口	4,951 〔平成26年度〕	5,050人(見込値)	-	5,145人 〔※平成29年度目標値〕	○
			* 中心市街地の歩行者通行量	95,061人 〔平成26年度〕	95,403人	-	105,916人 〔※平成29年度目標値〕	△
			* 路線バス、軌道事業を担う「とさでん交通」の経営安定	-	達成見込み	-	単年度黒字化及び実態債務超過の解消 〔※平成29年度目標〕	○
4	③		* 地域内連携協議会の設立地域数	5地域 〔平成27年5月末現在〕	12地域 〔平成27年度末見込み〕	-	27地域	○
			* こどもファンドの助成を受け活動する団体数	27団体(累計) 〔平成26年度末〕	33団体	-	77団体 (累計・50団体増)	△
			* 地域リーダー養成講座修了者数	103人(累計) 〔平成26年度〕	138人(累計)	-	253人 (累計・150人増)	○
4	④ 1)		* 防災人づくり塾修了生数	1,642人 〔平成26年度〕	1,760人	-	2,500人	△
			* 防災士資格取得者数	422人 〔平成26年度〕	514人	-	1,000人	△
			* 自主防災組織の組織率	88.3% 〔平成27年4月1日現在〕	89.0%	-	100%	△
4	④ 2)		* 台風災害発生時期までのシステム整備・運用	-	平成27年度に整備完了	平成27年度に整備	平成27年度に整備	○
			* 中山間地域における孤立化集落対策計画策定・推進	2地区 〔平成26年度〕	4地区	-	6地区	○
			* (再掲)防災人づくり塾修了生数	1,642人 〔平成26年度〕	1,760人	-	2,500人	△
			* (再掲)防災士資格取得者数	422人 〔平成26年度〕	514人	-	1,000人	△
4	⑤ 1)		* 65歳の平均自立期間 (65歳の人が要介護2の状態になるまでの期間)	男性 17.3年 〔平成25年度〕	-	-	男性 18.6年	-
				女性 20.32年 〔平成25年度〕	-	-	女性 21.3年	-
			* 「地域活動に参加している人」の割合	一般高齢20.3% 〔平成26年度〕	-	-	25%	-
			* プリント・ディサビリティのある人の利用登録者数	306人 〔平成26年度〕	310人 (27年2月時点)	-	400人	△
			* 日中一時支援事業の事業実利用者数	260人 〔平成26年度〕	243人 (H27年12月時点)	-	340人	△
4	⑤ 2)		* (再掲)65歳の平均自立期間 (65歳の人が要介護2の状態になるまでの期間)	男性 17.3年 〔平成25年度〕	-	-	男性 18.6年	-
				女性 20.32年 〔平成25年度〕	-	-	女性 21.3年	-
			* 70歳未満の標準化死亡比	男性 109.7 〔平成21～25年度平均〕	-	-	男性 105	-
				女性 106.2 〔平成21～25年度平均〕	-	-	女性 103	-
			* いきいき百歳体操実施箇所数	317箇所 〔平成27年1月末現在〕	331箇所 (H28年3月時点)	-	405箇所	△
			* かみかみ百歳体操実施箇所数	264箇所 〔平成27年1月末現在〕	286箇所 (H28年3月時点)	-	355箇所	○
			* しやしき百歳体操実施箇所数	-	235箇所 (H28年3月時点)	-	355箇所	○

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成27年度重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標	施策(大項目)	施策(小項目)	KPI				進捗状況
			項目	基準値	平成27年度実績値 (※未確定の場合は直近値もしくは見込値)	平成27年度目標値	
4	⑥	* 実態調査により飲料水供給施設の状況把握ができた集落数	-	30集落(鏡・土佐山地域)	-	中山間地域の全集落数59	○
		* 集落点検の取りまとめと新たな活動に向けた検討会の開催	-	・集落点検の実施(鏡)20地区(土佐山)14地区	集落点検の実施10地区分(鏡・土佐山各5地区×2人)	20地区	○
			-	・検討会/(鏡)1地区(横矢地区)(土佐山)2地区(都積地区外1地区)	集落点検を踏まえた新たな活動に向けた検討会の開催(2地区×2回)		
		* 新たな協働活動の検討、実施	-	(鏡)実施0件(土佐山)実施1件	-	2件	△
		* (再掲)台風災害発生時期までのシステム整備・運用	-	平成27年度に整備完了	平成27年度に整備	平成27年度に整備	○
		* (再掲)中山間地域における孤立化集落対策計画策定・推進	2地区 〔平成26年度〕	4地区	-	6地区	○
4	⑦	* 行政主体又は市民と協働で実施した環境学習講座への参加者数	230人 〔平成25年度〕	612人	-	400人	○
		* 温室効果ガス削減効果の高い設備機器を導入した事業者数	-	7件 (平成28年2月末時点)	20	100(累計)	△
		* オーベルジュ土佐山温泉利用者	17,581人 〔平成26年度〕	15,555人 (平成28年2月末時点)	-	年間2万人に回復	△
		* 薪ボイラー導入に合わせた地元住民の雇用	-	薪ボイラーの導入に向けた検討中	-	1人	○
		* (再掲)間伐材搬出量	1,364m ³ (単年)〔平成26年度〕	2,100m ³ (見込)	-	10,000m ³ (累計)	○
4	⑧	* (再掲)定住自立圏まんが文化連携事業実施校	5校 〔平成25年度〕	3校	-	5校	△
		* (再掲)行政主体又は市民と協働で実施した環境学習講座への参加者	230人 〔平成25年度〕	612人	-	400人	○
		* (再掲)こどもファンドの助成を受け活動する団体数	27団体 〔平成26年度〕	33団体	-	77団体 (累計・50団体増)	△